

松浦顧問講演会

7月13日 於 リーガロイヤルホテル京都

(有)山田車輛 山田 真也

今年も松浦顧問にはわざわざ我々のために京都までお越しいただき、講演会を開催していただくこととなりました。リーガロイヤルホテル京都での講演会は2年ぶりとなります。講演会には50名、懇親会には35名の方にご参加いただきました。70歳代から20歳代まで一同に会す、数ある機青連事業の中でもたいへん貴重な機会となりました。

第1部講演会では、『日本のアジア化』をキーワードにお話しいただきました。今後より大きい実力をつけていくであろう中国企業の脅威に対抗するため、我々は10年先、20年先を考えていかなければいけない、そのために日本は単独で競争していくのではなく、アジア全体で中国に対抗し、さらに巨大なマーケットとなる中国に売り込むことができる力も必要となり、日本はその中の一つとして考えるべきであるということでした。



これから予想される中間選挙に伴うアメリカの政治情勢、その影響を受けるであろう日本企業を取り巻く環境の変化に対応するべく、我々が準備しておくべき道筋を示していただきました。日本のものづくりを残すためには簡単に新規参入できないような産業を作り出さなければいけない、また今後求められる技術は原子力、高速鉄道、水、がん治療であるというキーワードもいただきました。

第2部懇親会では食事の後、私の司会で質疑応答や近況報告などが行なわれました。新素材である炭素繊維素材についてなどの質問があったり、また、将来的に中国進出を考えておられる会員様の近況報告があったりと、とても有意義な時間となりました。経営者としての心構えとは何かの質問に対しては、あきらめることなく常に前向きに自然に対して常に素直な気持ちでたくさんの人と会うことが大切であるというお言葉をいただきました。

目先の忙しさについ囚われがちとなってしまいますが、我々中小企業の経営者にとっても世界の動きや流れは決して無関係ではなく、それを理解し見極めながら経営の舵取りをする必要があることを改めて考えさせられました。

松浦顧問には大変忙しくされている中で貴重なお時間を頂戴し、ここに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

